

EA729SA - 20A
(微差圧計)

空気は圧力の高い所から低い所へ流れます。この原理を応用して室内の圧力を高めたり低くすることによって汚れた空気を室内に入れない、或は室外に出さないようにすることができます。このような空気の流れを監視するのが微差圧計です。



(仕様)

・圧力単位 Pa

・受圧エレメント **ダイヤフラム**

・測定ガス体 空気及び非腐食性ガス (液体は不可)

・振れ角度 約270° 広角表示 (メモリ長約170mm)

・使用温度範囲 -10 ~ 50 (ただし結露しないこと)

・使用湿度範囲 90%RH以下 (ただし結露しないこと)

・計器本体耐圧 200kPa

・外装材質 ポリカーボネート樹脂及び変成ポリアミド樹脂

・耐久衝撃 100m/s²

・適合配管
1. 軟質塩化ビニル管またはゴム管 (内径 6mm)
2. 金属管 (外径 6±0.1)
3. 硬質プラスチック管 (外径 6×内径 4mm)

・口金極性
・高圧側赤色、低圧側青色で表示
・高圧側及び低圧側の口金を入替えることにより極性勝手の変更可能

・重量 約270g

・耐久振動 5~10Hz 全振幅 10mm、10~50Hz 加速度全振幅 39m/s²

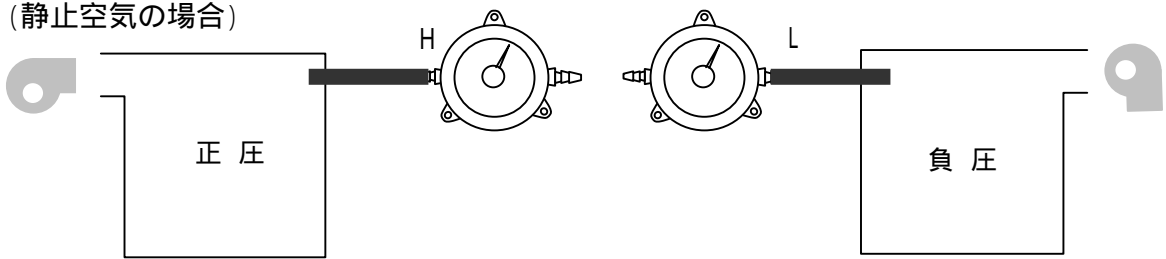
・メモリ範囲 0~200Pa

・精度 ±2.5% F.S.以内

・受圧エレメント材質 シリコンゴム

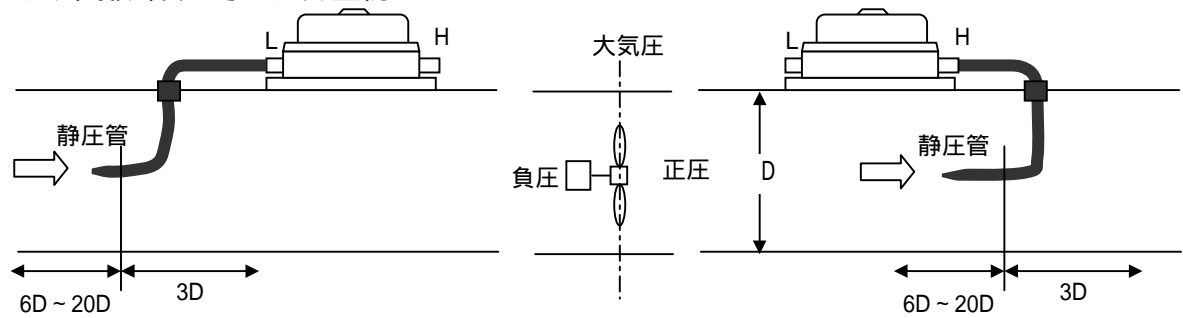
・受圧エレメント耐圧 10kPa

(静止空気の場合)



(流動空気の場合)

通気・排気装置等の圧力監視



・ダクト内の静圧は普通は乱気流のためゲージの指針が脈動して読取りが困難になったり、また測定値に誤差が生じますので必ず静圧管を決められた長さの直管部に取付けてください。
・ファンの前後でダクト内の静圧が正および負となりますので、ゲージの口金のH、Lの極性に注意し配管してください。

(圧損の計測)

エアフィルターの目詰まり監視
一般空調例

・エアフィルターの前後に静圧管を取付けエアフィルターの圧力損失を計測し、フィルターの目詰まりの程度を知ることができます。一般に300Paフルスケールから1000Paフルスケールのレンジが使用されます。

